

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎鍼灸理論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	嶋田 琢磨	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
(1)鍼灸施術者としての基本的知識(鍼術・灸術)の理解 (2)鍼灸施術者としての応用知識(刺激量・適応性・禁忌)の理解 (3)鍼灸師刺激の治効理論の理解						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
はりきゅう理論(第3版)、図解鍼灸臨床手技マニュアル、プリント						
《授業外における学習方法》						
配布プリントや教科書を熟読し理解をすすめる。後期の総合演習を含めて理解していくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
施術者としての基礎知識および治効理論を理解する重要な科目です。生理学・解剖学で基礎医学を学び、病理学・一般臨床医学・鍼灸診断学・鍼灸治療学を理解し、その上で鍼灸がなぜ効果があるのかを科学的に理解し、疾患や症例に適した治療(治療しない選択も含む)を的確に選択するためには、この鍼灸理論を十分に理解することが求められます。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸概論、鍼の基礎知識を理解する		配布プリント 教科書	参考書・配布プリンとを熟読する事
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション／国家試験動向／第1章概要			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼の基礎		配布プリント 教科書	参考書・配布プリンとを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼の基礎			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼の基礎		配布プリント 教科書	参考書・配布プリンとを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼の基礎			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼の手技		配布プリント 教科書	参考書・配布プリンとを熟読する事
		各コマにおける授業予定	17手技			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊鍼法		配布プリント 教科書	参考書・配布プリンとを熟読する事
		各コマにおける授業予定	特殊鍼法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	灸施術の基礎	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	灸の基礎		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	灸施術の応用	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	灸の種類		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	安全で衛生的な施術を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	リスク管理		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	安全で衛生的な施術を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	リスク管理		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	安全で衛生的な施術を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	リスク管理		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	安全で衛生的な施術を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	リスク管理		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	有害事象のメカニズム	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	内出血・発熱		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼理論の復習	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼理論の復習(過去問)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	灸理論の復習	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	灸理論の復習(過去問)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	まとめ		